

港南スポーツセンター

指定管理者選定委員会（第2回委員会）議事録要旨

開催日時	平成27年7月27日（月） 午後13時30分から16時20分まで
開催場所	区役所3階3号会議室
出席者	和泉委員（東京地方税理士会横浜南支部 税理士） 重田委員（青山学院大学 准教授） 嶋田委員（港南区スポーツ推進委員連絡協議会 会長） 高柳委員（港南区PTA連絡協議会 会長） 松本委員（日下連合町内会 会長） ※肩書は委嘱時のものです。
傍聴者	0名
議題	横浜市港南スポーツセンター指定管理者の選定について 1 面接 2 審議
面接審査 及び審議	<b>1 面接審査</b> 2 団体の応募があり、15分間のプレゼンテーション及び20分程度の質疑応答を行った。団体のプレゼンテーションの概要は次の通り。  <BSC・SFS共同事業体> ・新たなサービス向上施策の実施や自主事業の提供等民間企業ノウハウを発揮する。 ・管理の基本であるPDCAや改善活動を通じて継続的に顧客満足度を向上する。 ・開館時間を朝7時30分から夜23時まで拡大する。 ・介護予防等のため、シニア向けトレーニング機器を導入する。 ・母子家庭等の貧困をかかえる子供たちが無料で子どもスポーツ教室等に参加できるようにする。 ・飲食事業サービス、スポーツ情報コーナー、PCの設置を行う。  <公益財団法人 横浜市体育協会> ・市民の健康づくりに資する事業やスポーツ教室を、年間3,000回以上実施する。 ・疾病改善のための内科系運動療法と整形外科系運動療法を実施する。 ・日常点検を1日6回以上、予防保全を主とした修繕を年間2,500千円以上実施する。 ・体育室の照明をLED化するなど、コスト縮減と環境保護を進める。 ・AED操作方法の徹底など、危機管理体制を確立し、常に安全・安心な運営を徹底する。 ・区民ニーズに的確に応えていくため、「アシックス」「キョーエーメック」の協力を得てグレードアップした新体制で管理運営に臨む。

面接審査 及び審議	<p><b>2 審議</b></p> <p>横浜市港南スポーツセンターの指定管理者を選定するにあたり、第1回選定委員会で定めた評価基準項目に則り評価を行った結果、2団体中、高い評点を得た公益財団法人横浜市体育協会を指定候補者として選定した。応募団体についての委員の意見は以下の通り。</p> <p>&lt;BSC・SFS共同事業体&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従事員全て教員免許ありという点において、子供への接し方については期待できる。</li> <li>・新しい事業に取り組もうという姿勢が明快に伝わってくる。</li> <li>・独自の運営方針、民間企業のノウハウによるコスト削減があり期待できる。</li> <li>・貧困家族の救済など民間企業ならではの自由な発想は良いが、内容通りに実施できるのか疑問を感じる点がある。</li> <li>・開館時間の延長とあるが、周辺住民との調整など内容通りに実施できるのか疑問を感じる点がある。</li> <li>・地域との連携や近隣への配慮等の提案が弱く感じる。</li> </ul> <p>&lt;公益財団法人 横浜市体育協会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての世代、障害を有する人へのきめ細かな目を向けた体制をとっている。</li> <li>・PDCAの管理サイクルが良く回っており、改善意欲が非常に高い点は評価できる。</li> <li>・地域との連携・地域の現状把握をきちんとしており、それに対する新たな提案をしている。</li> <li>・地域のニーズ・特性を発掘し、新たな取組を意欲的に提案している。</li> <li>・協力企業の選定にあたって、幅広く検討されたのかコメントが欲しかった。</li> <li>・収容率・収益アップにやや固執しており、本来の目的を見失わないか。</li> </ul>
審議結果	<p>横浜市体育協会を横浜市港南スポーツセンター指定管理者の指定候補者とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市体育協会（448点/525点）</li> <li>・BSC・SFS共同事業体（363点/525点）</li> </ul>
特記事項	